

3 自然と都市の景観の保全と創造

▶ 現況と課題

◆ 市内には、建造物、史跡・名勝など、さまざまな歴史的な景観資源があり、これらの多くが一森山と浦戸地区に集中しています。

アンケートでも、「歴史と伝統の調和がとれた景観が残るまち」を将来の環境像として望む声が最も高くなっており、現在残されている歴史的な景観資源を活かし歴史や個性を感じるまち並みを形成していくことが必要となっています。

また、市民が塩竈の歴史や文化を正しく理解し、継承していくことも重要となっています。

◆ 数多くの自然が残されている島嶼部^{とうしょ}や一森山は、貴重な自然景観の資源でもあります。

市では、特別名勝松島の自然景観の保全に努めており、湾内では浮きをガラス製に代えるなど、景観に配慮した取り組みが行われています。しかし、近年、松くい虫による被害など、自然景観が失われつつあり、保全に向けた取り組みを一層充実していく必要があります。

また、これらの自然景観に加え、風致保安林などの公益的な緑も自然景観のひとつの資源と捉え、保全していくことも求められています。

◆ 市では、平成5年に「塩竈の景観を守り育てる条例」を制定し、景観の保全に努めています。

しかし、アンケートでは4人に1人が「景観が悪化した」と感じており、景観を含めた魅力あるまち並みの創造が求められています。

このため、鹽竈神社の門前町としてのたたずまいを形成していく、周辺景観と調和した歩道や沿線家屋の修景などを進めていくことが必要となっています。



鹽竈神社から見た海の眺め



浦戸諸島の島々



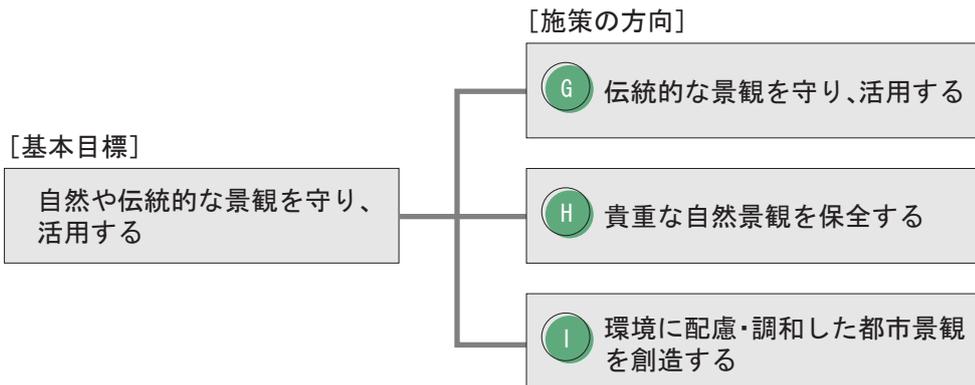
松の植樹

基本目標 (3) 自然や伝統的な景観を守り、活用する

管理指標

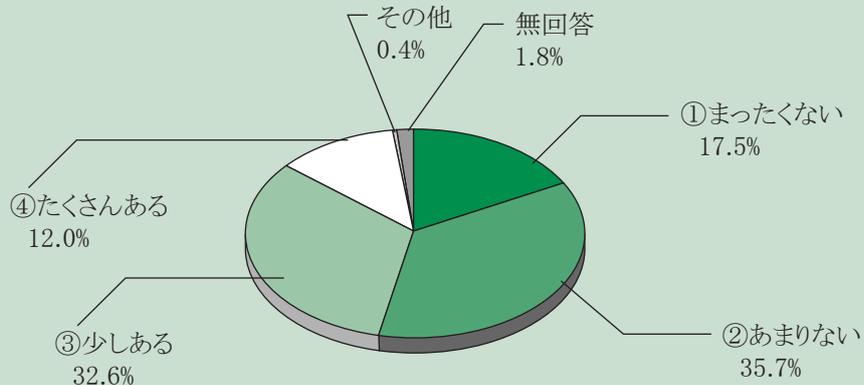
- 鹽竈神社周辺の歴史的地区環境整備街路事業の整備延長を4.2km以上にします。
- 文化財・史跡サインの設置数を40箇所以上にします。
- 市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。

施策の方向



景観や歴史・ゆとりの空間について市民の皆さんはこんなふうに感じています…

[景観や歴史・ゆとりの空間の状況]



市内に残っている歴史を感じさせる景観の再発見と保全を進めるとともに、その歴史的・文化的価値を広く市民と共有していきます。

また、昔の入り江などに沿ってそれらの景観資源や歴史的なまち並みを結びつけ、情緒ある空間を楽しめる「伝統的な景観のネットワーク」を形成していきます。

具体的施策

- 市内に残る伝統的な景観を保全し、その歴史的・文化的価値を活用していきます。
 - ◇ 身近なまちづくり支援街路の整備
 - ◇ 「小さな博物館」運動の推進
 - ◇ 文化財の保全、活用
- サインやガイドブックの整備など、伝統的な景観を結びつけ活用していきます。
 - ◇ 文化財・史跡サイン及びガイドブックの整備
 - ◇ 広域観光ルートの整備、推進

特別名勝松島や鹽竈神社などを中心に、市内に残る貴重な自然景観を保全します。

そのために、松島の松林などの美しい景観の保全や再生、自然景観と接する建造物や産業の景観への配慮を促進するとともに、風致保安林などの公益的な緑を市の貴重な自然景観と位置づけ、保全を進めます。

具体的施策

- 市内に残された自然景観の保全に努めます。
- 松島の松林を将来にわたって保全し、再生していきます。
 - ◇ 松くい虫対策の推進
- 自然景観と接する産業や建造物の景観配慮を促進します。
 - ◇ ワカメ・コンブ養殖振興対策の推進

1 環境に配慮・調和した都市景観を創造する

塩竈らしさを感じられるとともに、自然景観や周辺環境と調和した都市景観を創造します。

そのために、市の整備事業に際しては、環境に配慮した施工を推進し、市民・事業者とともに、環境に配慮したまち並みづくりを進めます。

具体的施策

- 自然景観や周辺の環境と調和した公共施設や道路の景観整備を進めます。
 - ◇ 北浜沢乙線の景観整備
 - ◇ 歩道の景観づくり
- 市民・事業者との協働により環境と調和した都市景観の創造を進めます。
 - ◇ 北浜沢乙線沿線民有地の景観配慮の推進
 - ◇ まちづくり資金融資制度の利用推進
 - ◇ 景観配慮指針の推進
- 街路灯などに、光害の少ない照明設備の導入を検討していきます。



北浜沢乙線の景観整備



歩行者系サイン及び文化財・史跡サイン



情緒あるまち並みの景観づくり



小さな博物館